

ライブ毎刊びゃっきープレス

2006

無料配布

↑あたりまえ

3月4日号  
ライブ当日発行

発行 (謝)びゃっきーライブ連盟  
http://www.satram.jp/byacky/  
byacky@satram.jp  
配布 びゃっきーご本人かライブハウスの人



役にたたない偏重サイト  
情報がグレードダウン!!

アクセス不要  
http://www.satram.jp/  
info@satram.jp

byacky press



▲こちらが「風翔ける国のシイちゃん」  
シイちゃんは王女でたいへんワガママであるぞ。うむ、ゆるすぞ。

こちらが岩根忍女流棋士。悲しいかな中段に「将棋界のミキティ」という文字が見える▼



# 荒川

## トリノ五輪女子フィギュア

# 金メダル

トリノ冬季オリンピックピック大会でのメダル獲得数が0個かと思われた日本勢に、突如として『金』メダルがもたらされた。しかも、フィギュアスケートでアジアが金メダルを取ることはないだろうと言われていた中での金。彼女は日本の救世主として当面の間は崇め奉られるであろう。びゃっきーとしてもそのすばらしさに異論を挟む余地は全くないが「しいちゃん」と呼ぶのは非常に抵抗がある。彼女はどちらかと言うと「しいさん」という感じである。「しいさん」金メダル獲得記念に。びゃっきーにとつての「しいちゃん」を紹介することにする。

実際に盛り上がりに欠けた今回のトリノ冬季オリンピック大会。イタリヤが総選挙を前にして、オリンピッククドころではなかったものもあるが、日本で盛りあがり日本勢が振るわなかつたことが原因である。

そこへもたらされた今回の荒川金メダル。知り合の嫁さんが鼻水垂らしながら、感動していらしたのが、妊娠中なの原因ではないかとその人は言っていた。

「いや、これは「しいちゃん」というよりはむしろ「しいさん」だ。別段太つてはいないが、何かゴツイ——これを書いている間に思い出したのだが、バンド時代に金曜日のライブへ仲間と向かう途中、車の中で聴くラジオのパーソナリティが「しいちゃん」という人がいたので、金曜日担当はその「しいちゃん」だったという記憶がある。確かに「おだしずえ」という人だったかと思う。夏に水着を着るためにダイエツト中なのだが、つい食べてしまうというふうなことをよく言っていて、ポーカーとオレ(その当時はキーボード担当)の間で「おデブしいちゃん」として、静かなブームが巻き起こった。彼女は無事痩せられたのだから、水着は着られたのだから、心配である。——とかかわりニツクネームをつけたがる日本マスコミの悪い癖。スケートは顔ですべるわけではないけれど、ミキティとはあきらかに違う——

最近のびゃっきーのブームの将棋界にも「しいちゃん」がいる。岩根トリノ五輪、日本代表にもたらされたたった一つのメダル。爆然と輝く金。そしてフィギュアスケート女子アジア勢の壁を突き破った快挙。びゃっきーは心の中で叫ぶ。「それでも荒川さんは『しいちゃん』じゃねえ！」(びゃっきー)

た。金メダルよりも、あなた方がおめでとうございませう。それはいいとして、職場で「しいちゃん」が金メダル取ったね」と言われて誰のことかわからなかった。オリンピックはほとんど見ていなかった。誰かまた金を取ったのかとちょっとびっくりしたが、何のことはない、荒川が「しいちゃん」と呼ばれているらしかつた。びゃっきーは慌てて新聞を手に取り、彼女の写真を見た——さて、「しいちゃん」と言えば、もちろん「風翔ける国のシイちゃん」である。中田友貴という人が描いたマンガである。おそらく第二版が刷り発行部数も五千部を下ろうか(あくまでびゃっきーの推測です)という幻の名作である。ずいぶん古い作品であるが、近年、新しい「シイちゃん」が帰ってきたので、見かけることが万が一にもあれば、手にとつてはいかがだろうか。——いや、これは「しいちゃん」というよりはむしろ「しいさん」だ。別段太つてはいないが、何かゴツイ——これを書いている間に思い出したのだが、バンド時代に金曜日のライブへ仲間と向かう途中、車の中で聴くラジオのパーソナリティが「しいちゃん」という人がいたので、金曜日担当はその「しいちゃん」だったという記憶がある。確かに「おだしずえ」という人だったかと思う。夏に水着を着るためにダイエツト中なのだが、つい食べてしまうというふうなことをよく言っていて、ポーカーとオレ(その当時はキーボード担当)の間で「おデブしいちゃん」として、静かなブームが巻き起こった。彼女は無事痩せられたのだから、水着は着られたのだから、心配である。——とかかわりニツクネームをつけたがる日本マスコミの悪い癖。スケートは顔ですべるわけではないけれど、ミキティとはあきらかに違う——